



2022 年度入学生用

入試 Q&A

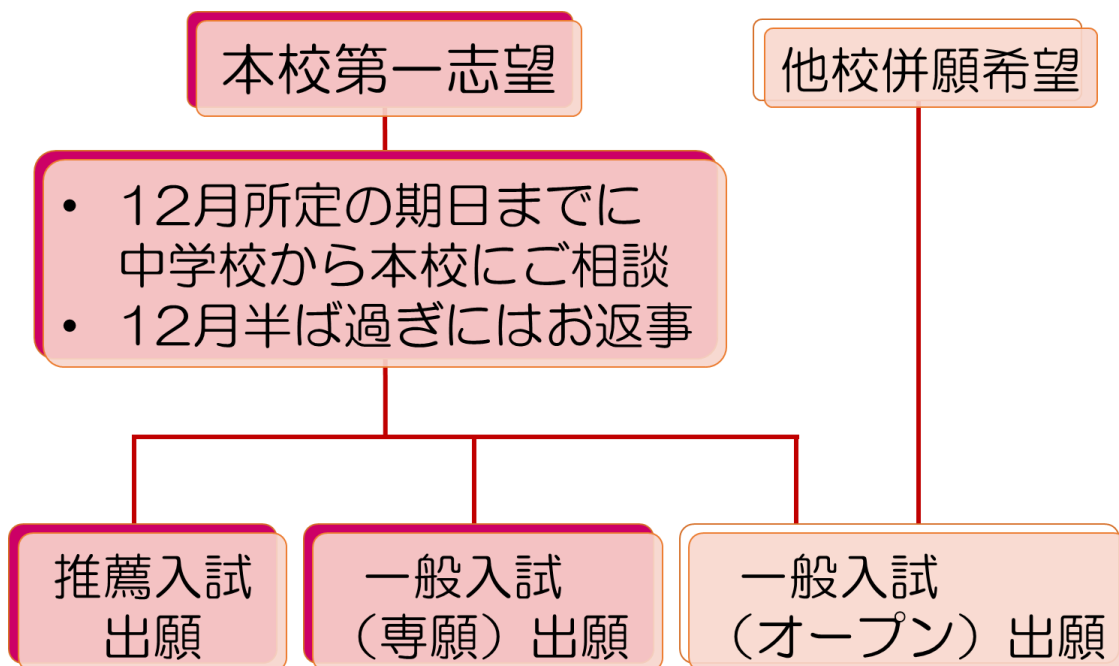
■ Q 2022 年度入試はどのように行われますか。

A 2022 年度入試は以下のように行います。

1 月 22 日（土） 推薦入試 65 名

2 月 10 日（木） 一般入試 65 名 { 専願
オープン

海外帰国生徒入試（募集人員特に定めず）



- 募集要項は9月以降、学校ホームページに掲載します。
- 本校が第一志望の方は12月所定の期日までに、必ず中学校の先生にご相談ください。

■Q 推薦入試の出願資格・基準を教えてください。

A 推薦入試への出願を希望される方は、出願希望について、12月所定の期日までに在籍する中学校の先生を通じて本校にご相談いただく必要があります。

推薦入試は、次の1～4に該当し、中学校長が責任を持って推薦して下さることを出願資格としています。

1. 2022年3月に日本国内の中学校を卒業見込みで、本校を第一志望とする者。
2. 本校の推薦基準に適合した者
3. 中学校生活を意欲的に過ごし、高校生活を健全に送ることのできる見込みの者。
4. 入学後保護者の元から通学できる者。

推薦基準については昨年までは「9教科38点以上、5教科22点以上」という成績の基準を明記してきましたが、2022年度入試では具体的な点数を基準としません。ご相談いただいた人数によって受験の区分（推薦または専願、オープン）を決定し、中学校を通じて12月中旬にはお伝えいたします。本校が第一志望の方は、まずは推薦入試での出願をご検討ください。

受験の区分は、中学校3年生2学期（2学期相当も可）または前期（12月時点も可）の5段階評定を中心に総合的に判断し、決定します。区分決定に際しては、以下の通り加点制度を設けています。

・ 加点について

以下の①②いずれかに該当する場合は、5段階評定の合計に1点加点します。ただし、①②の複数に当てはまる場合も加点は1点のみとします。

- ① 3年次に生徒会役員（会長・副会長・会計・書記）、クラブ部長であった者、またはこれに相当する者。
- ② 実用英語技能検定・実用数学技能検定・日本漢字能力検定のいずれかの準2級以上を取得している者。

12月所定の期日までに在籍する中学校の先生を通じて本校にご相談いただく際、加点制度を利用することを（①または②の具体的内容も）お知らせいただく必要があります。

■Q 推薦入試を希望しても他の受験区分での出願となることがあるのですか。

A 推薦入試への出願を希望され、12月所定の期日までに在籍する中学校の先生を通じて本校にご相談いただいても、ご相談的人数によっては、一般入試専願区分での出願をお願いすることがあります。その場合は、2月10日の一般入学試験を受けていただくこととなりますが、本校が第一志望で、本校への入学を前提とした区分ですので、推薦入試と同様に安心して入試の日を迎えていただくことができます。

また、推薦入試希望のご相談がきわめて多い場合には、一般入試オープン区分での受験をお願いすることもあります。その場合、中学校を通じてご相談をいただいていた方には一定の優遇をいたします。

■Q 推薦入試の内容について教えてください。

A 面接試験を行います。

面接は一回のみで10分ほどです。調査書に書かれている内容を参考に中学校生活についてお尋ねします。また、出願時に提出していただく志望理由書の内容についてもお聞きします。

■Q 海外の学校に在籍していても推薦入試が受けられますか。日本人学校なら可能ですか。

A 推薦入試の出願資格は「日本国内の中学校を卒業見込みであること」となっています。したがって、日本人学校を含め、海外の学校を卒業見込みの場合は推薦入試に出願することはできません。海外帰国生としての資格がある場合は海外帰国生徒入試をご利用ください。

一般入試について

■Q 一般入試専願・オープンの違いについて教えてください。

A 専願は本校を第一志望とする方の区分です。本校への入学を前提とした区分ですので、推薦入試と同様に安心して入試の日を迎えていただくことができます。(本校が第一志望の方は、まずは推薦入試での出願をご検討ください。)

オープン是他校の受験も可能な区分です。

専願・オープンとも、3教科それぞれ100点満点の筆記試験および面接試験を行います。専願・オープン合わせて65名の募集です。

■Q 一般入試専願の出願資格を教えてください。

A 一般入試専願に出願できるのは、以下の1・2に該当する方です。ただし、推薦入試と同様、出願希望について、12月所定の期日までに在籍する中学校の先生を通じて本校にご相談いただく必要があります。

1. 2022年3月に日本国内の中学校を卒業見込みで、本校を第一志望とする者。
2. 入学後保護者の元から通学できる者。

専願区分希望でご相談いただいても、ご相談の人数によっては、一般入試オープン区分での受験をお願いすることもあります。中学校を通じて12月中旬にはお伝えいたしますが、その場合は一定の優遇をいたします。

■Q 一般入試オープンの出願資格を教えてください。

A 次の1、2のいずれかを満たし、入学後保護者の元から通学できる方です。

1. 中学校の課程を修了した者、またはこれに準ずる学校を卒業した者。
2. 2022年3月に上記の学校を卒業見込みの者。

■Q 学科試験の時間と配点について教えてください。

A 英語(50分)、国語(50分)、数学(60分)で、3教科とも100点満点です。

■Q 一般入試では学科試験が重視されるのですか。

A 3教科の学科試験及び面接・調査書を総合的に判断して合否を決定していますが、中でも学科試験を重視しています。

■Q 一般入試の面接について教えてください。

A 時間は3分間程度です。

内容は、中学校の生活・社会への関心・将来の抱負などで、特に難しい事を聞くわけではありません。

■Q 海外帰国生徒入試の出願資格を教えてください。

A 次の1、2のいずれかを満たし、入学後保護者の元から通学できる方です。

1. 保護者と共に海外に在住する期間が小学校6年次6月以降に1年以上あり、中学校1年次(2019年)の6月以降に帰国して日本の中学校またはこれに準ずる学校を2022年3月に卒業見込みの者。
2. 2007年4月1日までに生まれ、保護者と共に継続して1年以上海外に在住し、日本の中学校に相当する海外の教育課程を修了した者、もしくは中学校に相当する海外の学校に在籍中の者。

なお、「海外帰国生徒」としての資格が認定できるかどうかについて、出願前に必ず入試事務室までお問い合わせください。

■Q 海外帰国生徒入試の入試問題は一般入試と同じですか。

A 海外帰国生徒入試は、一般入試と同日、同問題、同会場で行います。ただし、合否判定の段階で優遇措置をとっています。

■Q 海外帰国生徒は何人募集するのですか。

A 人数制限はありません。一定の成績に達していれば合格としています。いろいろな経験を積み重ねてきた生徒が学校の活力になっていると考えていますので、帰国生徒を歓迎しています。

■問い合わせ先

中高入試事務室

214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1

日本女子大学中高入試事務室

TEL 044-952-6705

FAX 044-954-5450

e-mail n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp

ホームページ <https://www.jwu.ac.jp/hsc/>

こちらのQRコード
からもホームページ
へアクセスでき
ます。

